

PFI事業者より提案されたバリアフリーの取組事例

- 国の庁舎として「働きやすく使いやすい」と「気軽に訪れる施設」の二つをテーマに、設計段階のUDワークショップを開催。
- 学識経験者がアドバイザーとして、30余の障がい関係者団体に所属する計32名の方が参加。
- 主に、建物への誘導方法やトイレ周りなどの計画について図面や3Dによる画像空間を活用して説明を行い、参加者から100を超える意見を徴取。設計に反映するよう検討。
- 今後、施工段階におけるUDワークショップを開催予定。

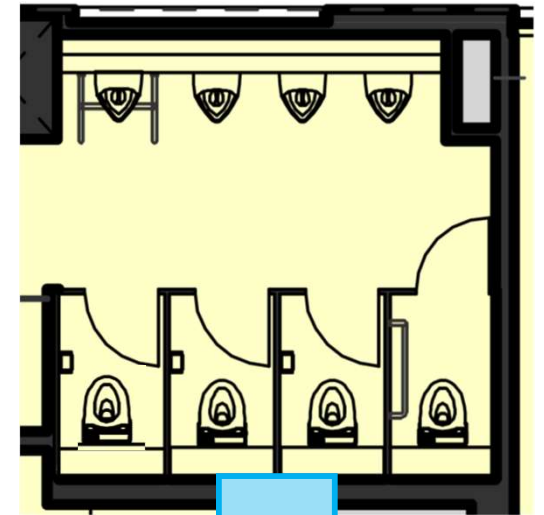


開催風景（現地参加＋Web参加）



3Dモデルを用いた説明

便所レイアウト改善案(例)

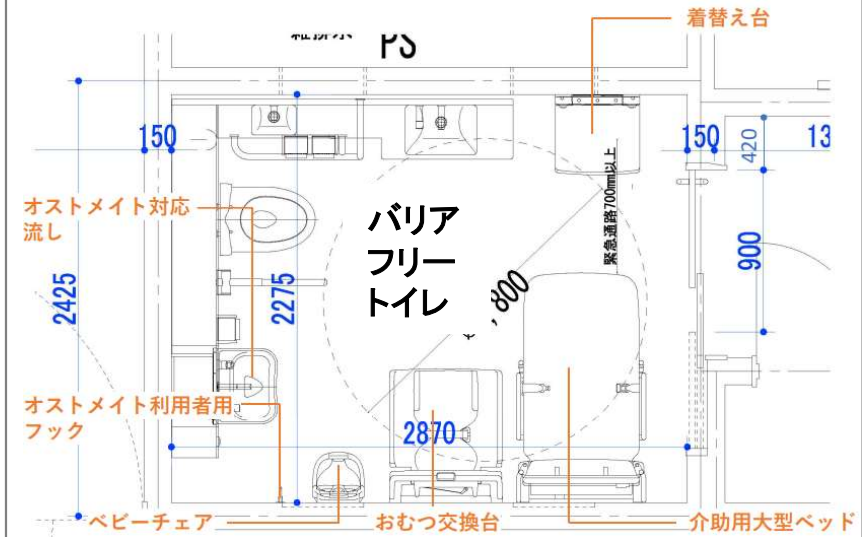


ベビーベッドなどをバリアフリートイレから男女トイレのブースに設置し機能を分散

バリアフリーの取組事例(施工段階)

- 施工段階のUDワークショップを開催。
- 学識経験者がアドバイザーとして、障がい関係者団体に所属する方々が参加。
- 3Dによる画像空間を活用して説明を行い、トイレショールームにて実際の使い勝手を確認し、意見を徴収した。センサー付音声誘導、発達障害児のためのサイン、異性介助のためのカーテン、介助犬スペースを確保する等の改善を図った。
- 今後、運用1年後(R9年)におけるフォローアップを開催予定。

バリアフリースイレイアウト例



開催風景 (現地参加+Web参加)



3Dモデルを用いた説明